

# 水泳部部長の受難

## 4

スタンプ



## 前回までのあらすじ

後輩へのパワハラをしていた監督に意見してきた正義感の強い水泳部部長近藤ハジメ。そのハジメが弱みを握られ、SM バーのマスター、監督、後輩の田中の3人の奴隷にされてしまう。

ハジメは撮られた写真や動画で脅されながら、後輩の橋本や羽田、親友の米田の前で奴隷としてさらされたり、SM バーでのバイトの強要、知らない男たちに輪姦され、おとされていった。

また、他の部員達の前でも監督の言いなりの道化に成り下がったことを示すため、羞恥芸披露等を強制されてしまう。

ハジメだけでなく、監督に目をつけられてしまった、後輩の羽田、親友の米田等も次々と監督の餌食にされていく中、ハジメは強制されていたSM バーのバイトを辞めさせられ、売り専のバイトを強制されるようになる。そこでは、ハジメより先に奴隷にされていた後輩の木村、またOBのハジメが尊敬していた元部長と再会し、売り専で鬼畜な調教をされていたことを知り、、、、。

## これまでの登場人物

### S 側

SM バーマスター：監督と通じており、ベテランの調教師

水泳部監督：部員にパワハラをしており、ハジメと対立していた。

田中（後輩2年）：監督と仲が良く、本人も同期の木村をパシリにしたりしていた。

橋本（後輩1年）：監督と田中がハジメを虐める際ノリよく参加

### M 側

近藤ハジメ（水泳部部長）：主人公。正義感強く、パワハラやいじめにあっている部員を助けていた部長

木村（後輩2年）：ハジメ同様弱みを握られ無理やり奴隷にされてしまった

羽田（後輩1年）：ハジメへのいじめに積極的でなく新たな標的にされた

米田（親友）：ハジメの学科の同級生。野球部エース。監督がハジメのラインをチェックしている際に米田のことを知り、外見も気に入り、新たな獲物とした

田辺（水泳部 OB）：ハジメが尊敬していた元部長。ハジメと同じく正義感が強く、人望も厚い部長だった

## 初心

ハジメが新たな職場である売り専に連れていかれた翌日、ハジメはその売り専の一室にいた。ケツ割れに、首輪、尻にはバイブをはめて所謂三角木馬をまたがされ、両手は天井から吊るされている。バイブがハジメの恥ずかしいところを責めている音がだけが響いている。

はあ、、あ、、、あ、あ、うう、、すごい、、あ、、、あ、あ、、、。

一人だというのにハジメは恥じらいもなく喘いでしまっている。

後で知ったことだが、ここは監督が経営している店だそう。どおりで、受付の人とも顔なじみなわけだ。こんな店を経営している人間が男子水泳部の監督をしているなんて世間が知ったら大問題になるだろう。しかし、それを告発する勇気も、気力もハジメにはもはやない。

尊敬していた元部長田辺のあんな姿を見てしまい、ハジメは監督へのさらなる恐怖と、、どこか期待を感じてしまっていた。

監督：昨日で大分店の雰囲気も分かったら？お前がこれからどうなるのかも。

はい、、、ご主人様！

監督が入ってくると、ハジメのペニスはいよいよ膨張し、びくつき始める。監督が来て喜びを表現するペニスに羞恥心でいっぱいになる。

監督：お前は本当に俺がいないとダメだな。

はい、私はご主人様の奴隷でございます、、！

最初のころは言えなかったセリフも今では、監督の機嫌をそこねないで言うことができるようになった。

監督：ただな、ここの客は色々いてな、NG無しというののもあって過激な客も

多い。だからお前には今まで以上に覚悟をもってもらわないとならない。

はい、、、ご主人様の仰せに従います！

自分も先輩のように尻に腕を入れられたり、ピアスをされたりしてしまうのか、、、という恐怖があるのに、、、もはや逃げようなどと考えることもできずに、自分の運命を受け入れている。

監督：いい子だ。

バチンッーーーーー。

ぎゃあああああ、、！

いきなり監督が吊るされているハジメの尻にスタンガンのようなものをあてる。

バチンッーーーーー。

ひぎゃああああ、、！お許しを、、お許しを、、ご主人さひぎゃああああああああ。

バチンバチンーーーーー。

ハジメが泣いても許しをこうても何度も繰り返される虐待。

監督：そうじゃないだろう？

耳元でささやく監督にはハジメははっとする。

、、、もっと変態奴隷を虐めてください！お願いします！

バチンッーーー。

ひぎゃあああ、、、。ぎゃああああ、、、。

（そうだ、、、俺は、、ご主人様のための存在、、、この痛みを喜ばなければいけないんだ、、、。調教してくれることを、、喜ばないと、、、。）

表面上は従順なセリフをはきながら、心の中では監督を憎んでいたハジメとは変わりつつある、、、。

ひぎゃああ、、、。ありがとうございます！、、、ご主人様、、、ありがとうございます！

泣きながら感謝を述べるハジメの頭をなでる監督。

監督：やればできるじゃないか。

無理やり従わされているのに、こんなこと望んでいなかったはずなのに、褒められてどこか喜びを感じてしまうハジメ。

監督：お前は何だ？

はい、ご主人様を喜ばすためだけに存在する変態奴隷近藤ハジメでございます、、、！

監督：なんで俺の奴隷になったんだ？

はい、ご主人様の「ご指導」をパワハラだとイチャモンをつけて反抗していたことを反省し、立派な部長になれるよう奴隷志願しました！

監督：今はどうだ？奴隷になったことを後悔しているか？

いいえ、ご主人様の奴隷になれたことを光栄に思っております！

監督：男とやるのは嫌じゃないのか？

はい、男性とのセックスや奉仕を仕込んでいただき、今ではペニスが大好きなホモ奴隷になることができました。